

商品の概要と特徴

従来のA/Cガスの漏れ止め剤のほとんどは、ポリマー（重合剤）を配合していることで酸素や水分によって化学反応を起こし、漏れ止め剤を固化させていることで漏れを止めていました。このポリマーを配合していることでのデメリットは次のようなことが上げられます。

- ・ フロンガスのサービス缶と同様の缶に入っているガス漏れ止め剤はポリマー（重合剤）を配合しています。
- ・ ポリマー（重合剤）を配合しているガス漏れ止め剤は、レシーバードライヤに水分が溜まっていると固化したポリマーによって目詰まりを起こす可能性があるため、レシーバードライヤの交換が必ず必要です。
したがって、お客様の金銭的な負担は、漏れ止め剤、レシーバードライヤの部品代、工賃と大変大きな負担となります。レシーバードライヤの交換を行わずに施工した場合には、エアコンシステムのトラブルを引き起こす可能性が高くなり、そのリスクも大変大きなものとなります。
- ・ 大気中の空気に触れると化学反応を起こし、漏れ止め剤が固化するため、ポリマー系の漏れ止め剤をエアコンシステムに注入した車は、再修理のためのパーツの脱着ができません。
- ・ すでに市場では従来のポリマー（重合剤）を配合している漏れ止め剤が原因でフロンガスの回収機及び回収再生機の故障を引き起こしたとしてポリマーを配合している漏れ止め剤を使用した車輛の修理をお断りしている工場も多く、また、漏れ止め剤が入っている車輛のフロンガス回収を禁止している回収機メーカーもあります。

プロフェッショナル A/C リークストップ（以後 PLS-60）は、これら全てを解消しています。

従来のポリマーを一切使用していない PLS-60 は、大気中の空気や水分に反応しない全く新しい、画期的な漏れ止め剤なのです。PLS-60 は、合成エステルを主成分としているノンポリマータイプ漏れ止め剤であるため、A/Cシステムに影響を与えることがなく無害です。

- ・ A/Cシステムに影響を与えず、無害です。
- ・ レシーバードライヤを交換する必要はありません。
- ・ レシーバードライヤを着脱する作業時間も必要ありません。
- ・ 再修理による注入後のA/Cシステムの各部パーツの着脱も全く問題ありません。
- ・ フロンガス回収機及び回収再生機で使用できます。
- ・ PLS-60 は、従来品と比較しても、ドライヤの交換、工賃、作業時間、漏れ止め剤と大幅な時間短縮とコストダウンを実現します。

また、適合冷媒はR-12及びR-134aに適合し、適合コンプレッサオイルは、ミネラルオイル・PAG・エステル油に優れた適合性をもっているため、あらゆるA/Cシステムに対応できます。

さらに、PLS-60は蛍光液剤が添加されているため、別売のUV-LEDライトを使用すれば、どこから漏れていて、どこの漏れを止めたのか目視でチェックすることができます。ご希望があれば、是非別売のUV-LEDライトをお買い求め下さい。

PLS-60は、※コンプレッサ、エバポレータ、コンデンサ、レシーバードライヤなど※漏れ止め可能サイズであれば、あらゆる箇所のガス漏れを止めるとともに、PLD-60は、浸潤性に富むコンディショナとしての性能も備えていますので、ホースやOリングなどのラバー材の性能を回復させます。

※コンプレッサの回転部分の漏れを止めることはできません。

※漏れ止め可能サイズの確認は、6ページの手順3を参照して下さい。

PLS-60 はどのようにして漏れを止めるのか

PLS-60 は、主成分である合成エステルに独自の化学処方に加え、ノンポリマーでありながら、エアコンの漏れを止める機能を実現したものです。

漏れ止めと言っても、どのような漏れにも対応している訳ではありません。ガスを入れてから2～3日で全て抜けてしまうような大きな漏れを止めることはできません。また、そのような製品は、現在では存在しません。現在市場で販売されている全てのエアコン漏れ止め剤は微量リークに対応しているものであり PLS-60 もそのひとつです。

PLS-60 は、従来のポリマー系の漏れ止め剤とは全く異なり、エアコンシステム内で固形化するようなことは一切ありません。では、どのようにして漏れを止めることができるのか？

まず、微量リークの場合、そのリーク箇所を見て確認できるような穴ではありません。

エアコンガスは、分子が非常に小さく、その分子がようやく通り抜けることができる穴や隙間が微量リークです。PLS-60 は、冷媒や潤滑油と混ざり合った PLS-60 がリーク孔に引き込まれるとリーク孔の壁にメンブレン（皮膜）を形成し漏れを塞ぎます。

注目すべきは、皮膜は固形化するようなものはまったく発生しないということです。PLS-60 は、水に漬けて込んでも固形化せず、また大気中に長時間さらしても固形することはありません。

また、リーク孔を塞いだメンブレンは、柔軟性を保つ性質があり、あらゆる振動にもリーク孔からメンブレンが脱落することなく永久的に漏れを塞ぎ続けます。なぜ高圧なエアコンシステムから皮膜が排出されないのか？それは、PLS-60 の分子がエアコンガスより大きいからです。

更に PLS-60 は、エアコンシステム内の各接続部に存在する Oリングにも作用します。Oリングの劣化によって硬化した Oリングは、僅かな隙間から微量リークを発生させることが多く、また、微量リークの大半が Oリングからの漏れであるとも言われています。PLS-60 は、劣化し硬化した Oリングの柔軟性を回復させ、微量な漏れを止める作用をもたらせます。

※PLS-60 で漏れ止め可能かを見極める方法は、6 ページの 3 項をご覧ください。